

美術の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めます。
- (2) 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層深め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばします。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心もち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めます。

評価の観点・方法

【評価の観点】

美術では、次の4つの観点で学習の評価をします。

① 美術への関心・意欲・態度

② 発想や構想の能力

③ 創造的な技能

④ 鑑賞の能力

【評価の方法】

☆ 授業中の取り組み、計画性、忘れ物や作品の提出状況、道具や材料の準備と後かたづけ、授業の約束を守っているなどを評価します。

☆ 造形的な技能、鑑賞の能力などを評価します。

☆ 一人一人の個性に応じた評価をします。

☆ 授業中に先生や生徒が気付いた良い点をそのつど生徒に伝えます。

☆ 完成作品（発表内容）を見て評価します。（制作過程中の作品も評価します。）

特色ある学習方法

- ① たくさんの道具や素材（紙・石・木・金属・粘土・廃材等）を生徒が表現したいものに合わせて選択活用できるように教室に用意します。ただし、独創的なアイデアのために必要になったものは家庭からのご協力をお願いします。
- ② 造形活動への興味・関心が高まり、楽しく美術の活動に取り組み、活動の喜びを味わえるように魅力的な題材を設定します。
- ③ 色々な活動を試み、個性を生かし、自ら学び自ら考える事ができる能力を「生きる力」ととらえ、これが身に付くような学習を心がけます。
- ④ ビジュアルコミュニケーション能力（視覚的に伝達する能力）を身につけ、美術を生涯にわたって生活の中で役立てる感性と美術を愛好する心を育てます。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1「クロッキー」 観察表現を基本として友人を描き、クロッキーの基本を学ぶ。	・4分程度の短時間で、対象の形・全体のバランスを素早くとらえる練習。 ・クロッキーに親しみ、人物表現の楽しさを味わう。
	2「写生」 学校の周りの見慣れた風景から郷土の美しさを水彩画で描き、スケッチへの興味関心を高める。	・スケッチの楽しさを味わい、水彩画の基礎的な技法を学習する。 ・戸外に出て五感を研ぎ澄ませ、感受性豊かに対象を観察し、感じ取った美しさや良さから発想し、風景画の創造的な構成を工夫する。 ・主題が生きよう筆のタッチを工夫しながら画面全体を彩色する。
	3「校内表示プレート」 個性やユーモアに富んだ発想を基に、楽しさや面白さのあるデザインや立体を創作し形にする。	人の心の豊かさのひとつであるユーモアや機知に富んだ発想を基に、楽しさや面白さのあるデザインや立体を創作し、伸びやか柔軟な発想の大切さを学習する。 ・木の味わいやぬくもりの良さを理解し、木材加工の基礎を学習する。 ・木材加工の基礎的な理解を進める。
2 学 期	4「デッサン」 基本的な形、立体、明暗の表現を学ぶ。	・線の向きや重ね方によるデッサンの基礎的な表現方法を学ぶ。 ・対象物の形や光の当たり方を工夫し写実的な表現方法を練習する。
	5「版画」 ドライポイント 白黒の世界での表現に自分なりのイメージを表現。	凸版か凹版の表現の違いを理解し、凹版の特性を生かした、表現を工夫する。 ・自分の表現したいもののストーリーや思いを作品に込める。 ・印刷技術を理解し、自ら進んで作品を仕上げる。
3 学 期	6「来たれ!我が部活へ！」 部活動勧誘をテーマにして来年度の新入生をターゲットにしたポスターを制作する	・来年度の新入生獲得のためのキャッチ・コピーや、視覚的な伝達要素をたくみに組み合わせたポスター制作を行なう。 ・色や形などの造形要素を実践的に生かし、他者にメッセージを伝えることの充足感を味わう。
	7「アート発見」 現代美術の多様な表現に対する興味関心を育て、それらを鑑賞し、良さを味わう。	・多様な表現の良さや美しさなどを味わい、鑑賞に親しむことができるようにする。 ・想像力を働かせ、現代美術の表現に表された作者の心情や表現の工夫を理解できるようにする。 ・授業の中で学んだ多様な表現の現代美術への興味・関心を発展させ、美術館を積極的に利用する姿勢を養う。